

資料提供年月日	平成27年5月13日	
問い合わせ先	課名	政策企画課
	電話	直通 803-1042 内線 3584
担当者	職名・氏名	担当課長 赤坂
	職名・氏名	副主査 新居田

# 広 報 連 絡

<市長記者会見資料>

## 1. 件 名

「岡山歴史のまちしるべ」について

## 2. 内 容

岡山の歴史や文化の由来等を現地で説明する看板「岡山歴史のまちしるべ」の仕様をとりまとめた整備基準を策定しました。

## 3. 今後の予定

中心市街地については、平成27年度、現地への設置交渉等を行い看板設置を行う予定としています。

また、今後、「岡山歴史のまちしるべ」を周辺地域へも波及させていきたいと考えています。

## 4. 添付資料

- ・岡山市歴史文化由来現地説明看板整備基準（概要）について
- ・中心市街地内の「岡山歴史のまちしるべ」設置候補

以上

# 岡山市歴史文化由来現地説明看板 整備基準(概要)について

－ 岡山歴史のまちしるべ －

平成27年5月

政策局政策企画課

## 目的、名称等

---

**目的** 様々な歴史的由来等を広く現地で紹介し、市民や観光客がまち歩きを楽しめる環境を整備するため、説明看板の整備基準を定め、統一した設置を推進する。

**名称** 岡山市歴史文化由来現地説明看板

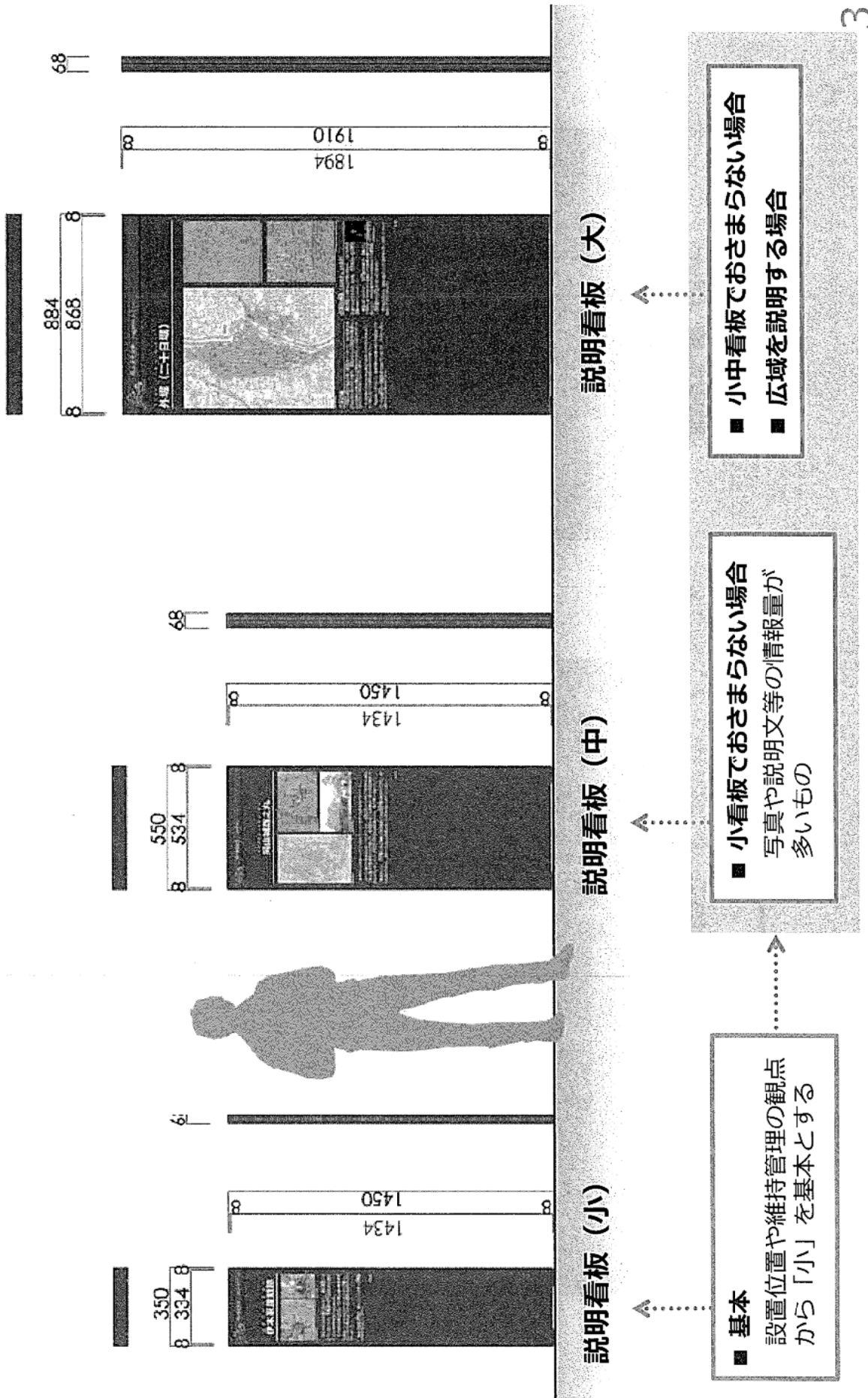
**愛称** **岡山歴史のまちしるべ**

**表示対象** 主に戦前までの事柄（建築物、人物、地名、交通、事象など）を対象とする。

**設置対象**


- ・文化財に指定されているが説明看板が設置されていないもの
- ・地域等で必要とされるもの
- ・既存の説明看板で老朽化し改修が必要なもの
- ・観光などの目的で必要と考えられるもの

# デザイン



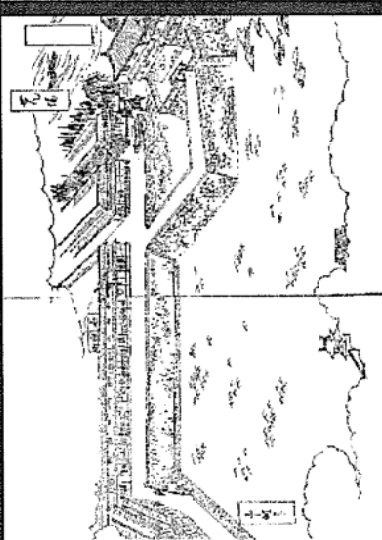


## 説明看板 (中)

岡山歴史散歩 一城下町をめぐる一



うぶぼろ

### 内堀

岡山城は、南と西方向にのみ郭が連なる橐籥式と呼ばれる城構えをしており、内堀（3重）・中堀・外堀の5重の堀に囲まれた堅固な城でした。


このあたりの内堀は、城内の堀の中でも最も幅が広い場所です。最大幅が100mにも達していました。堀の城内側は、今も西手櫓が残る西の丸があり、西側からの攻撃に備えていました。東側の護岸はシンフォニーピルの中ほどの位置で、ピルの建築工事の時に石垣が確認されています。

内堀は明治後期に埋め立てられ、跡地で上芝町納涼園という催し物が開かれた記録が残っています。

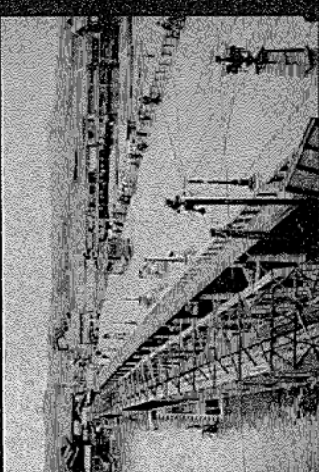
岡山市

## 説明看板 (小)

岡山歴史散歩 一城下町をめぐる一



### 京橋水管橋



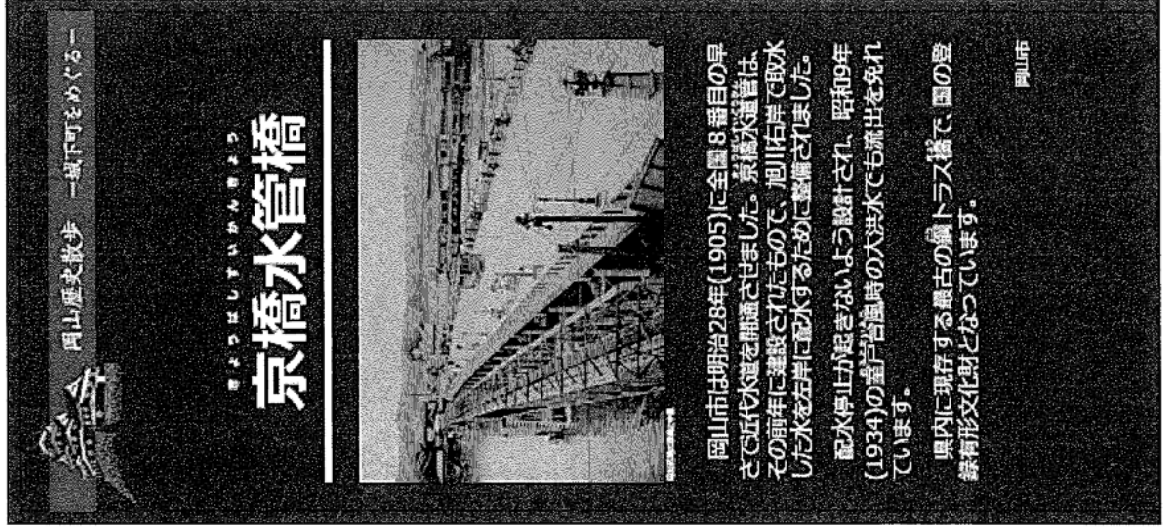
岡山市は明治28年(1905)に全国8番目の早さで近代水道を開通させました。京橋水管橋は、その前年に建設されたもので、旭川右岸で取水した水を左岸に配水するために整備されました。

配水停止が起きないよう設計され、昭和9年(1934)の室戸台風時の大洪水でも流出を免れています。

県内に現存する最古の箭トラス橋で、国の登録有形文化財となっています。

岡山市

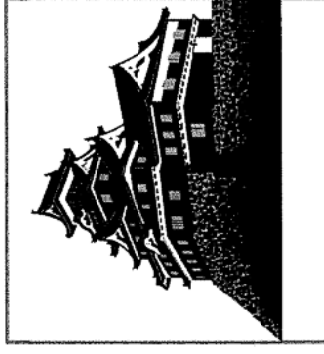
# 整備基準



## ■ 帯・アイコン

帯のタイトルサブタイトルは設置するエリアに合わせて設定  
中心市街地は「岡山歴史散歩－城下町をめぐる」で統一

アイコンの配置は任意とするが中心市街地は「岡山城天守」で統一



アイコン「岡山城天守」

## ■ タイトル

文字高サイズ：小看板40mm 中看板40mm 大看板50mm  
フォント：メイリオ (BORD)

## ■ 写真、絵図、古地図

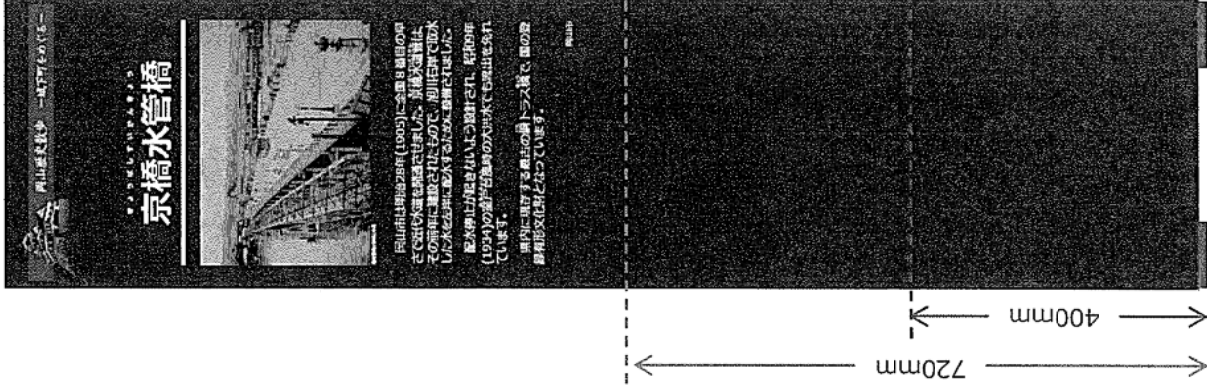
当時の様子がわかる写真や、絵図、古地図等を配置

## ■ 説明文

文字数：200字程度  
文字高サイズ：14mm  
フォント：メイリオ

外国語表記：原則表記しないが設置する看板の性質に応じ検討

# 整備基準



## ■ 色彩

盤面は烏城をイメージしたダークグレー（マンセル値：10YR 3.0/1.0）  
左下から右上に向かってグラデーション処理

## ■ レイアウト

フレーム上部から帯：20mm  
帯からタイトル：小看板90mm 中看板80mm 大看板75mm  
タイトル下部から下線：10mm  
下線から写真上部：20mm  
写真下部から説明文：30mm

## ■ 説明文表示位置の下限（推奨）

説明文は、健常者の通常視野の下限を参考に地盤面より720mmより上に収まるよう配置

## ■ 説明文表示位置最下限

説明文の表示下限は、車椅子利用者の通常視野の下限を参考に地盤面より400mmの位置とする。  
設置場所に応じた看板のサイズダウンは可能とするが、その場合でも推奨する説明文表示位置及び最下限は遵守。

# 経緯、今後の予定

- 平成26年
  - 中心市街地の調査及び設置候補の選定
    - ・ 既存看板の調査
    - ・ 歴史文化資産の掘り起し
    - ・ 説明看板設置候補の選定及び表示内容の検討

〔 小看板： 56ヶ所  
中看板： 4ヶ所  
大看板： 2ヶ所      合計 62ヶ所 〕

- 説明看板整備基準のとりまとめ

- 平成27年
  - 中心市街地への設置
    - ・ 設置交渉
    - ・ 看板製作及び設置工事
  - 周辺地域への説明看板検討

## 検討体制

■ 有識者アドバイザー  
 ・ 岡山大学教授 倉地 克直  
 ・ 岡山県立記録資料館館長 定兼 学  
 ・ NPO法人副理事長 青山 融  
 ・ まち歩き冊子出版者 福田 忍  
 ・ 岡山県立大学講師 齋藤 美絵子  
 H26年9月～H27年3月の間に4回意見確認

■ 庁内ワーキング  
 ・ 都市計画課  
 ・ 観光コンベンション推進課  
 ・ 区政推進課  
 ・ 文化振興課  
 ・ シティミュージアム  
 ・ 文化財課  
 H26年2月～H27年1月の間に6回開催



◀岡山歴史のまちしるべ設置候補▶

